

すべての地域住民を対象とした 地域包括ケアシステムを目指して

地域包括ケアシステムとは、医療・介護・福祉・住まい・生活支援などが
地域のすべての人に、切れ目なく提供されることです。

その実現に向けては自助(自分自身のケア)、互助(みんなの支え合い)、共助(社会保険制度)、
公助(行政サービス)といった様々な形の取組が必要です。



川崎市では、地域住民をはじめ、事業者、町内会・自治会などの地域組織、
ボランティア団体、行政などが一体となり、高齢者、障害者、子ども、子育て中の親、
まだケアの必要がない人も含めた、すべての地域住民を対象とした
地域包括ケアシステムの構築を目指します。



地域包括ケアシステムイメージ図

一人ひとりの取組

- 生きがいづくり ● 健康づくり
- 介護予防 など



自助

近隣住民やボランティア 団体の助け合い

- 見守り、近所の助け合い
- ボランティア活動
- 町内会・自治会の活動 など



互助

- 医療保険サービスの提供
- 介護保険サービスの提供
など



共助

公助

- 法制度に基づく支援
- 地域づくり支援
- 地域マネジメント
など



医療保険制度や介護保険制度

社会福祉などの行政サービス